

---

# 翼無き天使 第一部 浅はかな復讐

祐

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

翼無き天使 第一部 浅はかな復讐

### 【Nコード】

N2457W

### 【作者名】

祐

### 【あらすじ】

軍には男しかいない中、クロービナ王国で男装をして軍人をしているグランディウス。

任務で、ある日突然消えてしまったある国の重要人物を二人も探すこととなる。調べていくうちに王都では神隠しの噂が……。

二人が消えたことは国の極秘事項。他国の要人が二人も消えてしまったのである。早急に解決しなければ国際問題に発展しかねない。グランディウスは無事二人を見つけることができるのか？

他で連載しているものを改訂したものです。

## 序章 去る日

〔間章 翼無き天使〕

昔々、はるか昔この地に天使が舞い降りた。

そして、天使はこの地を統べてこの地に楽園を作り上げた。けれど、その天使はあまりに力を使いすぎて、翼をなくしてしまった。

己の力を考えなしに使った愚かな天使である。

されど、その天使がいるからこそこの地は、永遠を約束されたのである。

綻びだらけの憎き永遠を……。

〔永遠を語る者〕

\*\*\*\*\*

翼無き天使が舞い降りた大陸。

ベルシア大陸の西部、クロービナ王国に“汚れた巢”と呼ばれる場所がある。汚れた巢とは、王都の掃き溜めのような場所である。治安は悪いが、人情に溢れた場所である。しかし、そこは掃き溜め。一歩間違えば、犯罪に巻き込まれ、殺される。

そんな場所に身なりの上等な女が男達に囲まれていた。

少し離れた所に小さな女の子と青白い顔をした少年が隠れるようにして見ている。その少年は、小さな女の子を抱きかかえるように

している。まるで、少年は小さな少女を支えにしているようだ。小さな女の子の口が「おかあさま？」と動き、不思議そうな声が口から流れ出た。その後すぐに、彼女の目は少年の手によって塞がれて何も見えなくなった。

その少年はガクガクと体を小刻みに震わせながら、必死に目を見開いて女の行く末を見ている。

少年はただ一人、一部始終を見ていた。

しばらくすると、「おかあさま」と呼ばれた女は、一糸まとわぬ姿でこときれていた。人々はなにもないかのように薄汚れた道を通り過ぎていく。まるでそこに何もなかったように。女の子は少年が塞ぎきれなかった手の隙間から、幼いながらに女の無残な死を見てしまった。そして、口が大きく開き大きく息を吸った。路地裏に女の子の悲鳴がこだまするかと思えば、少年が必死に目を押さえる手と別の手で、口を押さえている。少年は、唇を強くかみ締めて真一文字に唇を結び、睨みつけるように男達の方を見る。けれど、向こうは気がつかない。

女は死ぬ間際に口を動かして、子の名を呼んだ。

「ごめんなさい。……グランディウス……、フ……り……」

彼らの母は、なぶり殺された。

父の命によって、少年の誕生日に……。

小さな女の子は復讐を誓った。心の奥深くに、その日を境に彼女の本当の笑顔は消えた。

二年後。

小さな女の子は、年のわりに大きな女の子に育ち、兄である少年は二十歳になった。八歳となった女の子は兄と歩いていても見劣りしないぐらい大人びてみえた。そしてある日、一通の手紙が届いた。二人の家に初めて届いた手紙は兄の徴兵令だった。母が残してくれた家をすぐに二人で出て、汚れた巢のさらに根深い所へと二人は隠れた。病弱で優しそうな兄がどうやって金を手に入れていたか女の子は知らない。彼女が知りたいとは思わなかった。いや、まだ幼い彼女は知らなかったのだ。物を食べ、屋根のある部屋で暮らしていくだけでもお金がかかることを。そして、子ども達だけで暮らしていく大変さを。

時々出かける兄に、女の子は何も聞くことができなかった。けれど、二年の歳月は女の子に無常にもお金の重要さを認識させることとなった。兄が風邪をこじらせて倒れた時、彼女はお金がなく、兄を医者に見せることができなかったのだ。彼女はお金の重要さを知った。

そんな時だった。家にまた軍からの徴兵令がきたのだ。

しかし、病弱な兄は軍人として働くことはできない。

その時、女の子は思った。なら自分が兄の代わりに軍人として働けばいいと。彼女は、年齢の割に自分の姿が異常なほど大人びていることに気が付いたのだ。一回り離れた兄と同じ年にみられるくらい、彼女は二年の間に異常なほど成長した。

ある日、女の子は兄に王宮で働くことを告げる。

兄と妹の思いは違う。宮仕えとして働くと思っている兄。兄の代わりに兵士として、働こうと思っている妹。

互いの思いが交錯する中、妹は母が亡くなったその日から丸二年たった今日、汚れた巢から旅立った。

ある思いを胸に秘めて……。

## 序章 去る日（後書き）

一話一話はそれほど長くないと思いますので、気楽に読んでいただければ嬉しいです。

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2457w/>

---

翼無き天使 第一部 浅はかな復讐

2011年10月30日20時19分発行